

訂正とお詫び

本誌のバック・ナンバーにおいて、下記の箇所に誤りがありました。お詫びして訂正いたします。
(編集部)

■ 2008年9月号

● 特集

p.84 左↑2行目：1000 MΩ→1000 GΩ

p.94 図1(a)：OPアンプ上部， C_s 左側の端子はジャンパで接続し，どちらかの C_s を選ぶ

p.95 左↓6行目：図1(b)→図1(a)

p.95 右↑3行目： V_{input} → V_{in}

p.98 右↓6行目：入力～→入力～

p.105 表1 AD8036の周波数特性：
200 M以上→20 M以上

p.106 図2：AD630JNの8ピンに0.1 μFのパスコンを追加

p.109 図1： D_1 ， D_2 はHZ10(ルネサステクノロジー)，+Vは+12V，-Vは-12V

p.114 図1：AD8013の-5V側に接続された電解コンデンサの極性が逆

p.115 左↑7行目：

$$Z_{12} = \frac{Z_1 Z_2}{Z_3} Z_1 = Z_2$$

$$\rightarrow Z_{12} = \frac{Z_1 Z_2}{Z_3} + Z_1 + Z_2$$

p.116 右↓8行目： $R_{new} = K \rightarrow R_{new} = \underline{RK}$

p.154 図1：-15V IN→+15V IN

p.154 図1：LM2941CSの3ピンをGNDに接続する

● Cによるマイコン操作術

p.208 左↑7行目：T1IN→T1CK

p.209 図6-1：SEL3の0と1が逆

p.216 左↑9行目：TAGTE→TGATE

● 別冊付録

p.16 図A右上： R_{B6} の許容差1%→5%

p.37 図5-3を差し替え(右図)

p.37 ↓4行目：

$$n_{CR000} = \left(\frac{1/f}{2} \right) / \left(\frac{1}{f_{PRS}} \right)$$

$$\begin{aligned} &= \left(\frac{f_{PRS}}{2f} \right) = \left(\frac{8 \times 10^6}{f} \right) \\ \rightarrow n_{CR000} &= \left(\frac{1/f}{2} \right) / \left(\frac{1}{f_{PRS}} \right) - 1 \\ &= \left(\frac{f_{PRS}}{2f} \right) - 1 \\ &= \left(\frac{8 \times 10^6}{f} \right) - 1 \end{aligned}$$

